

編集後記

今年は例年になく厳しい冬で、氷河時代の前ぶれを疑わせるほどであったのは御記憶であろう。それとの関連からか気象庁の長期予報は「冷夏」ということであったが、とんでもないことで記録的な暑い夏となった。9月になってまだまだ相当な残暑で、朝夕が涼しくなっただけで疲れが出た人も多かったようである。

それはさておき、読書の秋の10月、じっくりと読みながら考えていただこうということで「心理的アプローチ」を特集した。リハビリテーションにおいて患者・障害者の心理的確な理解と正しい対処が重要なことはいまでもない。永井氏には精神科の医師であると同時に障害者でもあるという立場を生かして、リハビリテーションにおける心理的アプローチについて全般的に論じていただいた。本田氏には「意欲に欠ける」患者へのアプローチということで、リハビリテーションの場で問題となりやすい「意欲のない」患者についてどうするかを論じていただいた。佐藤氏には高次脳機能障害と心理的問題との接点と

もいべき「脳障害と情緒障害」について詳しく述べていただいた。筆者が司会した座談会では医師・作業療法士・看護・ソーシャルワーカーにいろいろな角度からこの問題を議論していただき、司会者としても非常に興味深かった。

講座では合併症の障害学について石堂氏に脊髄損傷における尿路系の合併症について述べていただき、言語障害の評価については竹内氏に失語症の評価について詳説していただいた。また、リハビリテーションの行政に非常に関係の深い身体障害者福祉法の改正について、ホットな情報を厚生省の河野氏と、現場を代表しての今田氏にお願いした。

最後になったが道場氏の巻頭言で予防心臓病学とリハビリテーションについて、一次、二次、三次の予防を強調しておられることは、これからのリハビリテーション医学の方向を考える上で非常に重要なことと思われる。(上田 敏)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
杉 山 尚
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
加 倉 井 周 一
賀 集 竹 子
河 邨 文 一 郎
小 島 蓉 子
五 味 重 春
齊 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 田 玲 子
高 橋 勇
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 欽
橋 倉 一 裕
長 谷 川 恒 雄
林 玉 子
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
渡 辺 英 夫
(五十音順)

(細田, 山田)

次号予告(第12巻 第11号)

特 集 リハビリテーション領域における体力

体力とは何か……………熊大・体質研 澤 田 芳 男
脳卒中後片麻痺者の活動性……………産業医大 宮 原 恵 子・他
慢性関節リウマチ患者の体力……………宮崎医大 木 村 千 仞
筋ジストロフィー症患者の体力……………国立徳島療養所 松 家 豊

巻 頭 言 過ぎたるは及ばざるが如し……………久留米大・第三内科 戸 嶋 裕 徳
研究と報告 下垂足における腓骨運動神経伝導検査……………岡山大学 長 島 弘 明・他
症 例 報 告 溺水後遺症の2例……………島根県中央病院 木 佐 俊 郎・他
講 座 合併症の障害学(5) 脳血管障害後片麻痺

リハにおける合併症……………飯坂温泉病院内科 阪 場 貞 夫
言語障害の評価(5)

麻痺性(運動障害性)構音障害……………都養育院言語聴覚科 福 迫 陽 子

一 頁 講 座 人工関節(1) 生体材料……………自治医大 大 井 淑 雄
調 査 障害者の余暇活動の促進に

関する調査……………日本障害者リハ協会 玉 木 修・他

学 会 報 告 第22回九州リハビリテーション

医学懇話会……………九州労災病院 吉 村 理